

こおりやま広域圏内の図書館をたずねて

VOL.07 磐梯町中央公民館図書室 令和7年12月1日発行

図書館の概要



開館年月日 昭和59(1984)年4月1日

蔵書数 (令和6年度)
(一般) 6,435冊 (児童書) 2,775冊
計9,210冊

貸出冊数 (令和6年度)
(一般) 1,039冊 (児童書) 844冊
計1,883冊

休館日 第1・第4月曜日、第3日曜日、
年末年始

開館時間 9:00～17:00(通年)

磐梯町中央公民館は、昭和59(1984)年に開館して以来、公民館としてはもちろんのこと、図書コーナーを備え、さらに同一敷地内にある体育館とも一体的に運営され、町の生涯学習の拠点として機能しています。

図書コーナーは、町のシンボルである「史跡慧日寺跡(えにちじあと)」、慧日寺を建立した高僧・「徳一(とくい)」をはじめとする郷土資料が充実し、また、年2回入れ替えを行う福島県立図書館からのコーナーを設けています。

また、直木賞・芥川賞受賞作品コーナーもあります。小規模、少人数での運営ながら、創意工夫によって充実した内容です。現在、蔵書の総入れ替えを実施しております。

磐梯町は(株)シグマ等の工場が多いため、在勤者の利用が多いことも特色の一つになっています。

図書館の特色

書架



小規模ながら、一般、児童、郷土資料、県立図書本に分類されています。

待合室



磐梯町は、猪苗代町、旧河東町などからの通勤者が多く昼間人口が多いため、親の勤務地の保育所・幼稚園等に通う児童も少なくありません。そのため待ち合わせスペースですが、学習コーナーとしても活用されています。

※本企画は、「こおりやま広域圏」内の図書館を広くご紹介し、相互利用の促進を図るためのものです。

職員のお勧め資料



担当の菊地さんと徳一関連本

『徳一と会津仏教』

磐梯町中央公民館図書コーナーでおすすめする本は、徳一と会津の仏教に関する資料です。徳一は平安時代初頭に活躍した法相宗の僧で、この磐梯町に慧日寺を建立し、会津に仏教を広めました。磐梯山麓の慧日寺は、総本山、聖地、修行の道場として機能し、これとは別に布教のため平地の現・湯川村に勝常寺を建てたという説があります。

徳一は空海(弘法大師)や最澄(伝教大師)とも交流があり、彼らの残した著書にもその名が残っています。当初の慧日寺は巨大な伽藍(がらん)が立ち並び広大な寺領を誇り、歴代の領主からの厚い保護を受けていましたが、1589(天正17)年の摺上原の戦いで伊達政宗に焼かれて衰退し、さらに1869(明治2)年の廃仏毀釈によって一旦廃寺になりましたが、1904(明治37)年、真言宗寺院として復活し、さらに2008(平成20)年から、「史跡慧日寺」として、復元が順次開始されています。



徳一廟

徳一の墓とされる五輪塔を収めています。

周辺の見どころ



『慧日寺記念館』

磐梯町大字磐梯字寺西38 TEL 0242-73-3000

町のシンボル、慧日寺及び徳一、会津仏教の歴史を収めた記念館です。(冬季休館)



『史跡 慧日寺跡』

磐梯町大字本寺上4950

磐梯町のシンボル、徳一が創建した会津仏教の聖地。金堂の再建後、関連施設の整備が進みました。(取材日雪のため、以前撮影した写真です) なお、史跡の慧日寺跡に隣接して、現在の磐梯山慧日寺もあります。

日橋川

道の駅ばんだい

町の特産品の販売・紹介、飲食・休憩の他、磐梯山を囲む磐梯町・猪苗代町・北塩原村からなる「磐梯ジオパーク」の拠点になっています。



(株)シグマの紹介

道の駅ばんだいでは、町で最大の規模を誇る工場である(株)シグマの紹介コーナーがあります。精密工学機器(カメラレンズ)を提供、映画「トップガン」にも使用されました

←会津若松

磐越西線

磐梯町駅

猪苗代→

磐梯町役場

磐梯町では、郡山市の清水公夫研究所の設計により、役場、公民館、体育館、小中学校、保育所等のデザインがレンガ調の壁と緑の屋根に統一されています。



←R49

磐梯町中央公民館 体育館(同一敷地)

磐梯町磐梯仁渡1018
TEL 0242-73-2017



編集後記

令和元(2019)年10月に開始された「こおりやま広域圏」内の図書館の相互利用を促進して交流を深めるため、令和6(2024)年1月からスタートしたこの企画の7回目は、「磐梯町中央公民館図書室」を紹介しました。磐梯町には独立した図書館はなく、中央公民館の図書室がその役割を果たしているほか、同一敷地の体育館も一体的に運営され、さらに、町教育委員会もこちらにあります。小規模ならではの工夫により、町民のみならず在勤者の憩いの場となっています。

作成:郡山市中央図書館管理係 TEL 024-923-6601